

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（平成24年度第1回）

議 事 要 旨

- 1 日時：平成24年7月30日（月）14：00-16：30
- 2 場所：独立行政法人国際交流基金 第1セミナー室（9階）
- 3 出席者：
 - （1）委員（敬称略）
碓井光明委員長、宮本和之委員、渡邊一弘委員、渡辺政宏委員
 - （2）外務省
高田文化交流課首席事務官、若杉文化交流課予算班長
 - （3）国際交流基金
安藤理事長、田口理事、柳澤総務部長、下山経理部長、大嶋監査室長、
正野会計課長、審議案件担当者
- 4 主要議事：
 - （1）平成23年度の契約状況について（報告）
 - （2）再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）
 - （3）個別案件の審議
- 5 主要議事概要：
 - （1）平成23年度の契約状況について（報告）
平成23年度の契約について、競争入札等による契約の件数・金額、一者
応札・応募案件の件数等の状況について事務局より報告した。
 - （2）再委託案件及び一者応札案件について（報告）
今次委員会の検討対象となる契約について、再委託及び一者応札・応募
案件の状況について事務局より報告した。
前回も一者応札・応募であった案件に関するフォローアップ票について
事務局より説明した。
 - （3）個別案件の審議（案件一覧は別紙の通り）
 - ア 本部事務所専用部清掃業務委託契約
委員：賃貸人（オーナー）が指定する業者への委託が事務所賃貸借の条件の

一部となっているとのことであるが、清掃業務の仕様もオーナーが指定するものか。

基金：然り。確認したが、回数及び内容は妥当と考える。

委員：委託先の指定があっても、予定価格算定に際しては、参考見積を別業者から取得してはどうか。

基金：今後徴取するようにしたい。

イ 顧問弁護士契約

委員：顧問契約に加え、本契約に基づき事案ごとにその専門分野の弁護士に相談できる契約内容であることがわかった。顧問料も妥当であると判断される。

ウ 平成24年度文書保管業務委託契約

委員：落札者が仕様書の条件を満たしていなかった由だが、具体的には。

基金：国土交通省の「優良トラックルーム」認定が未取得であった。

委員：保管と配送を分けて入札するより、本契約のように一括する方が安くなるか。

基金：然り。

エ 本部フィルムライブラリー所蔵映画プリントの輸出入通関及び16ミリプリントの保管輸送業務委託契約

委員：一者応札を回避するため、保管と輸送を分けて入札することはできないか。もしくは35ミリプリントと一括することはできないか。

基金：本件は輸出入通関業務を中心とした契約であり、今後は16ミリプリントと35ミリプリントの保管輸送業務をまとめて入札することを検討したい。

委員：受託業者がリスク管理やトラブル回避等の能力を備えているかといった判断も業者選定上非常に重要であるが、この点は担保されているか。

基金：価格に加え、技術評価も反映させる総合評価方式の一般競争入札で業者を選定している。

オ 日本語国際センター施設管理・運營業務委託契約

委員：昇降設備保守業務の単独契約から日本語国際センターの施設管理・運營業務の包括契約に含めた変更により昇降設備保守業務は再委託となっているが、現状業務に支障はないか。

基金：問題はない。全体の管理・調整は契約相手方が行っており、また、公共サービス改革基本方針に沿った民間競争入札の手続きの規定で再委託情報の提出をあらかじめ受けていたので、事前確認が可能であった。

カ 関西国際センター施設管理・運營業務委託契約

委員：本件契約も公共サービス改革基本方針に沿った民間競争入札の手続きによる由であるが、日本語国際センターの契約に比べて再委託の比率が高いのはなぜか。

基金：関西国際センターは遠方という地理的理由により、業務遂行の都合上再委託率が高くなっている。

キ 関西国際センター人材派遣契約

委員：一社との契約ではなく、複数社と契約しているということか。

基金：然り。競争参加資格を有する者から提出されたプロポーザルの審査を行った上で交渉順位グループを決定し、その交渉順位に従って個別の人選依頼を適宜行っている。

ク 3.11 東日本大震災建築展韓国輸送業務契約

委員：一者応札の要因は何であるか。

基金：美術品輸送が可能な業者は限られている上に、当該業者の複数社は本件業務予定時期に他業務のため応札が難しい由であった。

また、現地での展示会場選定を受けて作業日程を組まなければならない、かなり厳しい日程を指定せざるを得なかった。

委員：本件は毎年度入札実施する事業ではないことから、余裕のある公示期間を設定し、より競争性を確保するのが望ましかったと考える。

緊急に決定したということで公示を早めることができないようなスケジュール上の事情がある場合には、詳細が決定していない早い段階でHP等で入札案件の予告を行う等の方策を検討できるのではないか。

基金：今後の対応につき検討する。

6 その他

- ・次回の契約監視委員会は12月に開催し（対象案件は6月～10月）、契約に関する個別審議の他に、一者応札・応募案件に関する原因分析とフォローアップ（前回も一者応札・応募の個別案件を抽出して審議）の時間を設けることとなった。

以上

契約監視委員会(平成24年度第1回) 案件一覧

No.	契約名称及び内容	契約の相手方	契約方法	契約金額
1	本部事務所専用部清掃業務委託契約	株式会社ビケンテクノ	随意契約	6,897,180 円
2	顧問弁護士契約	TMI 総合法律事務所	随意契約	(単価契約)
3	平成24年度文書保管業務委託契約	株式会社住友倉庫東京支店	随意契約 (入札不調)	(単価契約)
4	本部フィルムライブラリー所蔵映画プリントの輸出入通関及び16ミリプリントの保管輸送業務委託契約	株式会社日本シネアーツ社	一般競争	(単価契約)
5	日本語国際センター施設管理・運營業務委託契約	東京ビジネスサービス株式会社	一般競争	218,899,800 円
6	関西国際センター施設管理・運營業務委託契約	三井物産ファシリティーズ株式会社	一般競争	238,477,050 円
7	関西国際センター人材派遣契約	株式会社アヴァンティスタッフ	随意契約 (企画競争)	5号業務 1,850 円/時間
8	3.11 東日本大震災建築展韓国輸送業務契約	カトーレック株式会社	随意契約 (入札不調)	2,844,839 円